



プロジェクトの概要

### インターチェンジ(IC)の役割

**地域間交流**  
生活圏域の拡大による利便性の向上

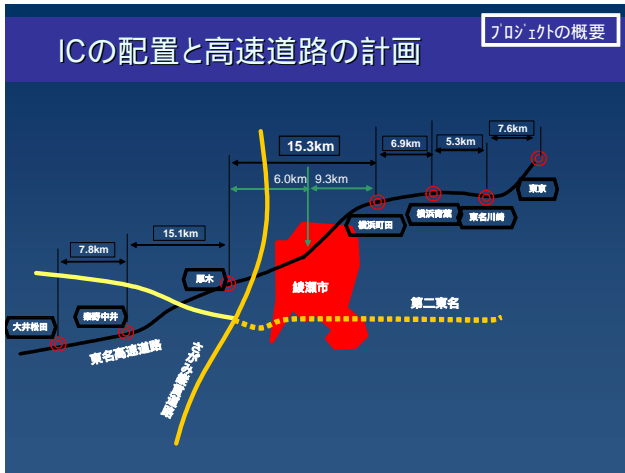
**地域産業の再編と発展**  
地域の潜在能力の引き出し

**代替路線の確保**  
災害時における緊急輸送経路の確保

**医療福祉の連携強化**  
高次医療施設へのアクセス性の向上

**高速道路の有効活用**

- ・地域活性化IC制度  
地域の活性化に寄与するICは地方公共団体が整備が可能
- ・スマートIC
- ・ETCの普及促進
- ・高速道路網の整備



プロジェクトの概要

### 綾瀬ICの検討体制

**綾瀬市**  
ICによる独自性のあるまちづくりの推進  
市民の利便性向上  
地域経済の発展  
環境影響への対応

**神奈川県**  
県土の均衡なる発展に向けたICの設置  
県央・湘南地域県民の利便性向上  
地域経済の活性化への寄与  
既存IC周辺の渋滞緩和

**効果・影響を踏まえたまちづくりの検討**

**IC形態の検討  
環境への影響調査**

これまでの取り組み

ICによるまちづくり

- 平成12年4月 地域活性化IC制度の創設
- 平成13年9月 綾瀬市IC設置検討協議会の設立 ... 市民の代表組織
- 平成15年5月 綾瀬IC設置促進連絡協議会の設立 ... 7市1町の首長組織
- 平成15年8月~ 県知事に設置要望書の提出
- 平成15年12月~17年3月 IC設置に関する検討調査実施 ... 委員会組織により検討
- 平成17年8月~17年12月 オープンハウス(パネル展・アンケート) ... 市民の意見・要望の把握
- 平成18年~ 対話集会(IC設置検討箇所周辺)

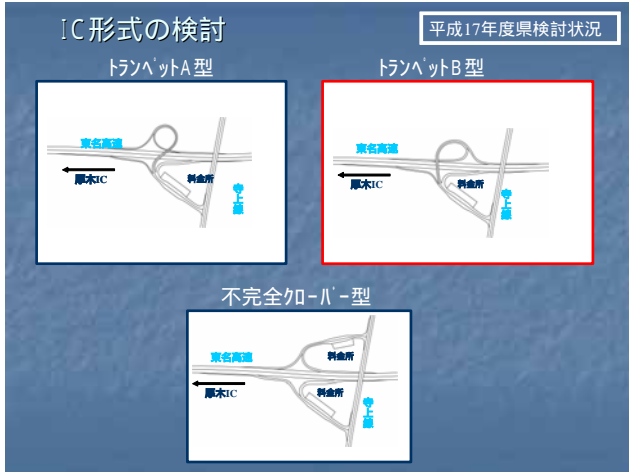
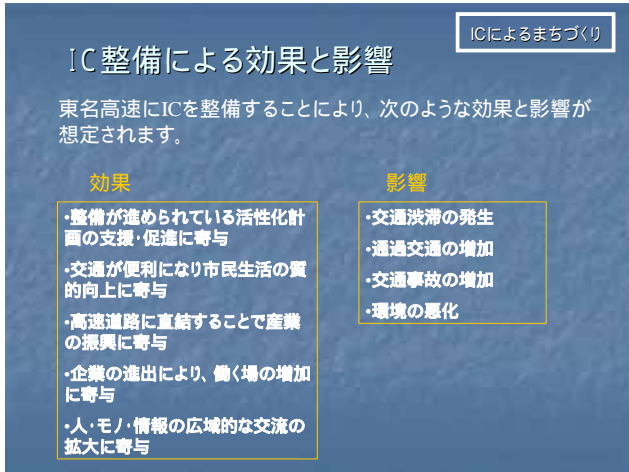
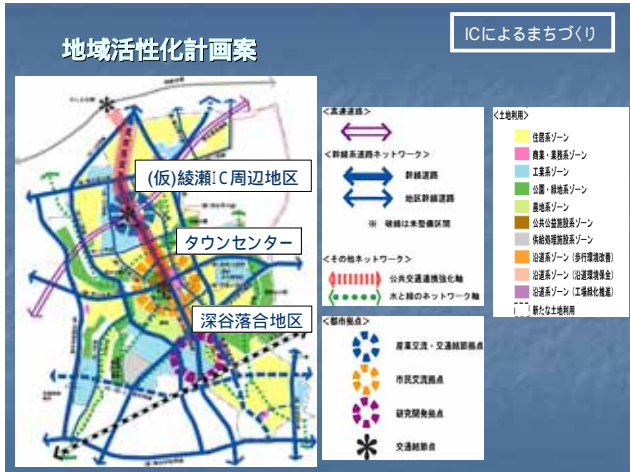
あやせ都市マスタープラン

(平成13年3月策定)

ICによるまちづくり

**まちづくりの柱**

- 生活への支援  
「快適な都市生活の創造」
- 産業への支援  
「産業の活性化と新たな産業拠点の創出」
- 交通への支援  
「交通利便性が高い施設・機能の配置」



### 有料道路事業の採算性

平成17年度県検討状況

1. 収入

・IC利用交通量	22,000台/日
・IC利用料金	100円(普通車)
横浜町田～綾瀬	550円(〃)
綾瀬～厚木	450円(〃)
(現行)横浜町田～厚木	650円(〃)
償還期間約30年間の収入合計 約230億円	

2. 支出

・IC本体建設事業費	約100億円
・維持管理費及び借入金利息等(約30年間)	約130億円
償還期間約30年間の支出合計 約230億円	

